

最新の農具ずらり JAにしみのが展示会

西美濃農業協同組合(JAにしみの)は28日、垂井町東神田の同JA垂井支店で農機や農薬などの展示会を開いた。地元の農家らが最新のドローンや田植え機



大型トラクターの性能を確認する農家ら
＝垂井町東神田、JAにしみの垂井支店

などの性能を実感した。農業従事者が新たな機器を知る機会をつくろうと、毎年稲刈りが始まる時期に行っている。会場には大型トラクター

や農薬散布用ドローンなど30ほどの機械が並び、来場者は実際に乗車したり、担当者から説明を受けたりして性能を確かめた。ハンド操作なしで直進するアシストトラクターや無線操縦草刈り機の実演もあった。全国農業協同組合連合会県本部(JA全農岐阜)の職員を講師に招いた講習会では、農家らが機械のメンテナンス方法や鳥獣害対策について学んだ。

関ヶ原町で営農組合に所属する70代の男性は「よい米を作るためにも、機器の導入や生産方法を考えた」と話した。29日も開かれる。(西垣剛大)